



(株) naco

## 荒井 瑠伽さん

### Topic 01 今日も田んぼで、やりがいチャージ中！

「田んぼで作業していること自体がやりがいなんです。」

都会での会社員生活を経て、故郷・佐渡で農業に飛び込んだ若者がいます。佐渡高校を卒業後、大学進学で関東へ。営業職として3年ほど働いたものの、「正直、楽しくなかった」と振り返ります。26歳で思い切ってUターンし、(株)nacoの農業事業部「イケベジ」に加わったのが荒井瑠伽さんです。



### Topic 02 どうして佐渡に？

「佐渡が好き、という気持ちはずっと根底にありました。」

大学時代から、いずれは地元に戻りたいと考えていた荒井さん。関東で暮らしていた時も、自然や暮らしの魅力を再認識する場面が多かったといいます。転機になったのは、地元で農業事業を立ち上げようとしていた(株)nacoの存在。代表は野球を通じての旧知の仲で、その声かけがきっかけに。「結果的に農家になった」という荒井さんですが、不思議と違和感はなかったそうです。

### Topic 04 農業に向いている人って？

「体を動かすだけじゃなく、意外と頭も使うんです。田んぼごとに土や水の状態が違うから、観察して考える力が必要。几帳面さと大胆さ、両方を持っている人が合っていると思います。」

### Topic 06 高校生へメッセージ

「目標があるから、大変でも続けられる。結局は“いいお米を作りたい”という思いなんです。」  
都会での経験と、地元への愛着。その両方を胸に、荒井さんは今日も田んぼで汗を流しています。



### Topic 03 有機農業に挑戦

現在は米や野菜を育てる日々。農薬や化学肥料には頼らず、自分たちで作った堆肥を使います。籾殻や米ぬか、そして地域で伐採した竹を粉にして混ぜるなど工夫もいっぱい。

「地域の先輩方や佐渡でも有機農業に取り組む方々に常に学ばせていただいています。そして田んぼで歌を歌うなど、農業を楽しむという気持ちが全国の皆さんに伝わればいいなと思います。」

### Topic 05 地域と一緒に

現在は仲間3人で、四町歩の田んぼを管理。高齢化で農業をやめる人が増えるなか、耕す面積は広がっていく見込みです。さらに、子どもたちや一般の人を招いて田植えや稲刈りの体験イベントも実施。「自然の中で学ぶ場をつくりたい」という思いが込められています。

投票は公式LINEから



(株) naco のHP

